

(様式1)

校 種	① ・ 中	学校番号	4 9	学校名	宇都宮市立雀宮南小学校
-----	-------	------	-----	-----	-------------

令和6年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

「人間尊重の教育」を基盤として、地域の特性や児童の実態を踏まえ、社会の変化に主体的に対応できる知・徳・体の調和のとれた心豊かでたくましい南の子の育成に努める。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

南の子 なかよく かしこく たくましく

○なかよく……なかよく助け合い きまりを守る子（思いやり・規範意識・人権意識）

○かしこく……進んで学びよく考え自分の言葉で表現できる子（自主性・創意・コミュニケーション力）

○たくましく……明るく元気に粘り強くやり遂げる子（明朗・勤労・耐性・自己有用感）

2 学校経営の理念

学校教育目標の具現化を目指し、「笑顔いっぱい あいさついっぱい やる気あふれる南小」を合言葉に、以下の学校づくりを推進する。

- ・児童一人一人が自分のよさや成長を実感し、学ぶ楽しさと居がいを感じることのできる学校

(児童が笑顔になる学校)

- ・教職員がチームとして互いに支え合い高め合いながら、明るく笑顔で教育活動に取り組める学校

(教職員が笑顔で働く学校)

- ・地域・保護者・学校が互いに信頼し合い、協働して教育活動を進めていく学校

(保護者・地域とともにある学校)

3 学校経営の方針

「児童が笑顔になる学校」

- (1) 児童一人一人が自分のよさを発揮し、学校生活への充実感や自己有用感、自己の成長を感じることで、学校づくりに努める。
- (2) 基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を育み、主体的に学習に取り組む態度を育てることに努める。
- (3) 教育活動全体を通して、人権を尊重する心、人を思いやる心、規範意識などを育むとともに、夢や目標に向かって粘り強く努力し続ける心と体のたくましさの涵養に努める。
- (4) 児童一人一人の悩みや不安、ニーズ等を把握・共有し、児童指導上の諸課題に組織的に対応することで、安心して過ごせる学校づくりに努める。
- (5) 生涯にわたって自他の生命を尊重し健康で安全な生活を送れるよう、自ら進んで体力づくりをしようとする態度や健康を管理する能力、望ましい生活習慣、危険を予測し回避する判断力の育成に努める。

「教職員が笑顔で働く学校」

- (6) チーム力の向上を通して教職員が同僚性と協働性、キャリアステージや職種に応じた力を発揮することで、組織的、計画的な教育活動の推進に努める。
- (7) 教育者としての使命感を自覚し自己・相互研鑽に励むことで、人権意識の高揚と指導力の向上

に努める。

- (8) 教職員一人一人のモチベーションやメンタルヘルスを保持しながら、最大限の力を発揮できるように業務の改善と勤務時間を意識した働き方改革を推進する。

「保護者・地域とともにある学校」

- (9) 積極的な情報発信を行い、保護者・地域と連携・協働した学校づくりを推進する。
(10) 地域学校園の連携を図り、児童生徒・教職員の特徴・よさを生かした教育活動を推進する。

〔雀宮地域学校園教育ビジョン〕 一人一人が自らのよさを自覚し、主体的に学ぶ児童生徒の育成
～いきいきとした活動を通してつながる～

4 教育課程編成の方針

- (1) 学校教育目標の具現化を図るため、学校経営方針や学校評価・学校課題・児童の姿や地域の現状などを踏まえ、また、前年度の教育課程実施の反省や地域・保護者からの意見等を十分に考慮し、社会に開かれた教育課程を目指して編成する。
- (2) 児童が明るく楽しく生き生きと取り組める特色ある学校づくりを目指し、異学年間交流活動や児童による主体的活動の推進と、地域外部人材を活用した意図的・計画的な実践化が図れる教育課程の編成に努める。
- (3) 社会の多様化やグローバル化、超情報化、SDGs等の複雑化する現代社会の諸課題に対応し、持続可能な未来を創る担い手として必要な資質・能力（言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等）を、教科等横断的な視点で育成していく教育課程の編成に努める。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

(1) 学校運営

- ・児童一人一人のがんばりやよさの見取り・共有や活躍の場の意図的な設定などによる、認め励ます教育の一層の推進
- ・道徳教育・人権教育の充実を通じた豊かな人間性や他者を思いやる力の育成と目標に向かって粘り強く取り組むたくましさの涵養
- ・質の高い教育活動を目指し、教職員が自ら学び続ける学校風土の確立（校内研修・一人一授業の充実）
- ・教職員が生き生きとやりがいをもって勤務するための業務内容と勤務時間の効率化と適正化
- ・積極的な情報発信による保護者・地域との信頼関係の構築と、地域の教育力を生かした特色ある教育活動の展開

(2) 学習指導

- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進
(南小授業モデルの実践、協働的な学びの場の設定・ICTの効果的活用)
- ・基礎・基本の定着と家庭学習の習慣化に向けた取組の工夫
(朝の学習・自主学習の活用、習熟度学習・教科担任制の推進・家庭学習強化週間の実施)
- ・学ぶ意欲を高め、学ぶ喜びを感じられる問題解決的学習の充実
(できる・分かる・楽しい授業の推進、実生活とつながる課題の設定、考えを伝え合う活動の設定)

(3) 児童生徒指導

- ・ルールやマナーがあるよさを実感し、進んで守ろうとする意識と態度の醸成
- ・明るいあいさつや、時と場に応じた正しい言葉遣いを身に付けられるようにする指導の充実
- ・自己有用感を育み、互いのよさを認め合う、居がいのある学級づくりの推進
- ・いじめ等の問題行動や不登校の未然防止・早期発見と発生時の組織的対応
(保護者・関係機関との連携、一人一人に寄り添う適切な指導・支援の実践)

(4) 健康（体力・保健・食育・安全）

- ・自分の運動能力や体力への関心をもち、進んで運動に取り組もうとする態度の育成
- ・健康に関する知識を正しく理解し、健康で安全な生活を営んでいこうとする意欲の向上
- ・自分で決めた目標に向け、粘り強く取り組む心と体のたくましさの涵養
- ・自らの食生活を振り返り、望ましい食習慣の形成に向けて自ら改めようとする態度の育成
- ・安全を心掛け、自ら危険を予測して回避するための判断力・行動力の育成

6 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

「児童一人一人が自分のよさを自覚し、ともにいきいきと学び合う資質・能力の育成」

- ① 異学年交流活動を多くの教育活動に取り入れ、仲よく助け合う心、自主性や社会性を育てる。
- ② 様々な人との関わりを重視した学習活動の中で、基礎・基本を身に付け、生活に生かす力を育てる。
- ③ 健康で安全な生活を営み、進んで運動に取り組む態度を育てる。

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

①なかよし活動（心の教育の充実）

- ・ルールやマナーを守る態度の育成（「よい子の生活・遊びのきまり」の活用）

◇・いきいき縦割り班活動及び異学年交流の充実（いきいきタイム・縦割り班清掃・いきいき花壇）

◇・地域・保護者・地域学校園・異学年で取り組むあいさつ運動の推進

- ・一人一人のよさを認め、励まし、称賛する活動の充実
- ・人権教育、道徳教育の充実による他者を思いやる心の育成

②わくわく学習活動（学習指導の充実）

- ・基礎・基本の定着と家庭学習の習慣化（朝の学習の充実・家庭学習週間の設定
- ・教科の特性を生かした「楽しく、分かる授業」の展開
- ・互いの意見を伝え合い、楽しく学び合う活動の充実
- ・自然や地域社会、企業、多様な他者等と触れ合う体験的な活動の充実

③がんばり活動（体力増強・健康安全教育の充実）

- ・教科体育の充実（運動量の確保、サーキットトレーニング等）
- ・目標を決めて主体的に粘り強く運動に取り組む態度の育成
(授業・各種検定カードの工夫・持久走記録会)
- ・体力づくり、仲間づくりを目指した外遊び、クラス遊びの奨励
- ・健康につながる基本的生活習慣の形成（食育活動の推進・健康、安全指導の充実）

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）

①基本的考え

- ・地域の一員であるという自覚を培い、地域に感謝し、地域に貢献しようとする態度を育成するため、感謝を伝える機会をもつとともに地域の行事への積極的な参加を促す。
- ・地域協議会との連携を図り、地域人材・外部人材等を活用した体験活動を充実させる。

②主な取組

- ・感謝の手紙やあいさつ運動を通して、地域のボランティアへの感謝の心を育てる。
- ・地域・PTA・育成会・おやじの会等の行事やボランティアへの積極的な参加を促す。
- ・生活、総合、宮っ子「夢」教室等を中心に地域を活用した体験活動を充実させる。

(2) 小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

- ・9年間の見通しをもった学習指導・児童生徒指導を共通理解し実践する。

②主な取組

- ・中学校の教員が小学校を訪れ、交流授業や中学校の話をすることや6年生の中学校訪問を通して、中学校進学に対する児童の不安軽減を図る。
- ・中学生との合同のあいさつ運動により、先輩への尊敬の念を育てるとともに、地域でのあいさつの定着を目指す。
- ・統一献立や「お弁当の日」を実施し、家庭での食に関する話題づくりのきっかけとする。
- ・地域学校園の各学校のおすすめの本を紹介し、読書の幅を広げるとともに質の向上を目指す。

(3) 不登校対策

①基本的考え

- ・予防的には自己有用感をもてる学級経営、分かる授業の展開を推進し、個別事例には必ずチームで組織的に対応していく。

②主な取組

- ・居がいのある、温かい雰囲気 of 学級経営を行うとともに、分かる授業を展開する。
- ・教育相談週間（学校生活アンケート）やQ-Uなどを活用し児童の心の状態の把握に努め、問題の未然防止や早期発見・早期対応に取り組む。
- ・実態を把握し、ケース会議等を積極的に実施し、学校全体で取り組む組織的対応を推進する。
- ・保護者支援を行い、必要に応じて外部機関と連携する。

(4) G I G Aスクール構想

①基本的考え

- ・宇都宮市における「G I G Aスクール構想」のSTEP2の目標「全ての児童生徒、教員が協働学習ソフト等を活用した授業を行えるようにする」の実現のため、校内外での研修や授業の内外での実践事例を校内で共有し、全教員のICT活用能力の向上を図る。

②主な取組

- ・学年や発達段階に応じ教材やICT等を効果的に活用しながら、授業を展開する。
- ・スクールタクト等の有効システム及び共同編集機能を協働的な学びのツールとして活用する。
- ・実践事例の紹介・共有、授業研究会などの効果的な校内研修を工夫する。

(5) 宇都宮学

①基本的な考え

- ・子供たちが、郷土宇都宮の歴史や伝統文化、産業などについて理解し、郷土への愛情と誇りをもてるよう指導の充実を図る。

②主な取組

- ・発達段階を踏まえた体系的な学習を実施する。
- ・各教科における地域教材・郷土資料の積極的な活用する。
- ・教科・領域において「宇都宮のよさ」を意識した教育活動を推進する。